いわて未来研　会報・情報誌

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会 会報・情報誌　第 50 号(R4. 10. 28)

ご挨拶

会長　相原　正明

めっきり冷え込む中、暖かい日差しを自らの影と共に楽しんでおります。

コロナ禍もなお続く日々ですが、いかがお過ごしでしたか。お元気でご活躍のことと存じます。

常日頃のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

前回会報でお知らせしましたように、第 50 号を記念した新名称が会員投票の結果、「みらい研」と決定致しました。また、これを機に「会報・情報誌」として内容の一層の充実を図ることとしたところです。

平成 22 年(2010 年)8 月 20 日に会報創刊号を発行し、以来年 4 回のペースを一度も崩すことなく歩むことができました。皆様のお励ましのお蔭であり改めて御礼申し上げます。

この会報は、当初の会員相互の情報共有から行政機関、図書館等への配付も加えつつ、広範な人々への情報発信の目的も持つようになり、会事業の太い柱に育ってまいりました。

今後、より高く、広い視点、先進性等を誌面に活かし、世に貢献したいと願っております。

会員皆様の益々のご高配をお願い致します。

祝 50 号

みらい研

祝 50 号

〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地
TEL 0197-35-2134　E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp
FAX 0197-35-2134　URL http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp

年 4 回 発　行

政策・意見提言十周年

平成 25 年(2013 年。当会発足 4 年目)にスタートした「行政機関、政党等に対する政策・意見提言」活動は、お陰様で十周年を迎えました。この間の皆様のご協力、ご高配に改めて深く感謝申し上げます。報道の方々にも御礼申し上げます。

昨年の第九次までに、提言事項は 139 に上りました。提言の結果は、①概ね改善の方向で動いたもの 46(33. 1%)、②中長期的に施策に生かされることを期待 51(36. 7%)、③継続提言が適当なもの 22(15. 8%)、④当分実現が困難と認められるもの 20(14. 4)という状況でした。今後更に工夫しつつ効果的に取り組んで参ります。

―第 1 次の記録―
末村裕子復興庁
(国)復興推進官へ
(H25.9.10)

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会 会報・情報誌　第 50 号(R4. 10. 28)

お知らせ

お願いなど

会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R4. 10. 28 現在会員数

個人正会員(年会費 2 千円)　157 名

個人賛助会員(年会費 1 千円)　61 名

団体正会員(年会費 2 万円)22 法人・事務所

団体賛助会員(年会費 1 万円)2 法人

合計　242 名・法人

ご提言ありがとうございました　!!

お蔭様で会員の皆様から行政機関、政党等への政策・意見提言を多数寄せていただき、充実した形で取りまとめることが出来ました。

内容(項目・要旨)は、添付資料のとおりですが、前年度と同じ 16 項目で、新規 14、一部新規 2 となっています。

未だ素案段階であり、今後さらに理事を中心に調整し、12 月 3 日(土)の理事会決定の予定です。同日に公表するとともに、その後大臣、知事始め県の機関や関係市長、市長会、町村会、政党本・支部、国会議員等に提言して参ります。

ご意見のある方は是非お寄せいただければと存じます。

ご寄附御礼

前回会報(第 49 号)で報告した以降の状況。金額 3 千円(R4 年度寄附の累計 12 千円)

―寄附者ご芳名―

菅原　節子　様　(2)

岩渕　正力　様　(1)

( )内は金額(千円)

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の
辻・本郷 税理士法人
代表社員　本郷 孔洋(岩手県一関市出身)
税務顧問・相続・事業承継・公会計など
タイムリーにサービス提供いたします。
辻・本郷 税理士法人　盛岡支部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央通ビル 5 階
0120-10-0606
URL http://www.ht-tax.or.jp/　辻・本郷　検索

編　集　後　記

本号インタビュー取材のテーマとなった新渡戸稲造の「武士道」に次の言葉があります。

「人間は、それぞれ考え方やものの見方が違うのが当然である。その違いを認め合い、受け入れられる広い心を持つことが大切である」、「武士の教育において守るべき第一の点は品性をつくるにあり、思慮、知識、弁論など知的才能は重んぜられなかった」、「弱者、劣者、敗者に対する仁は、特に武士にふさわしき徳として賞賛せられた」。

ウクライナ侵攻を続けるロシアのプーチン大統領は、「柔道を通して、規律と礼節を重んじる日本の作法を学び、自ら先頭に立って『柔の道』をロシアに広めてきた」とも言われますが、この武士道精神を噛み締め直し、侵攻の非を認めて撤収し、〝人物であること〟を示してほしいと思いました。(相原)